

四季のボタニカルアート

ハス(ハス科)

水田に栽培される多年生草本です。根茎が長く伸びて長い柄を持つ大きな葉が伸びます。夏に花茎が伸び水面に白やピンクの大型の花を開きます。花後円錐形の果実を結び黒い紡錘形の種子を内蔵します。「雄弁」が花言葉です。葉を下痢止めや解熱に用い、また種子(蓮実)も同様な薬効と睡眠作用を持つことから薬膳に良く使われます。

本画は1800年代後半のEdward Stepによる作品です。

